

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県愛のともしび基金に寄せられた寄附金、基金の運用益を基に国・県の補助対象とならない民間社会福祉事業に助成を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H16)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標	
					達成率	
①補助件数（確定値）	0	35件 29,770 千円	25件 24,000千 円	25件 24,000千 円	25件 24,000千 円	140%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和51年、（財）愛のともしび基金が設立され、平成21年度まで助成事業を実施してきた。 ・平成22年、県長期構想に掲げる「安心して暮らせるふるさと岐阜県づくり」のため、県の直営事業として主体的に推進していくこととした。 ・同年4月（財）愛のともしび基金を解散、その後残余財産を県へ寄附。 ・同年10月、岐阜県愛のともしび基金条例により基金設置。 ・同年10月～財団が実施してきた社会福祉法人等への助成事業を、県に設置された基金からの繰入金を財源とした県事業として実施。 <p>・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果</p> <p>＜令和2年度の補助内容＞</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">合計</td> <td style="width: 25%;">件数：21件</td> <td style="width: 20%;">補助金額：16,340千円</td> </tr> <tr> <td>・施設整備</td> <td>件数：6件</td> <td>補助金額：7,570千円</td> </tr> <tr> <td>・備品購入</td> <td>件数：15件</td> <td>補助金額：8,770千円</td> </tr> </table>	合計	件数：21件	補助金額：16,340千円	・施設整備	件数：6件	補助金額：7,570千円	・備品購入	件数：15件	補助金額：8,770千円			
合計	件数：21件	補助金額：16,340千円											
・施設整備	件数：6件	補助金額：7,570千円											
・備品購入	件数：15件	補助金額：8,770千円											
令和 3年 度	<p>＜令和3年度の補助内容＞</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">合計</td> <td style="width: 25%;">件数：35件</td> <td style="width: 20%;">補助金額：29,770千円</td> </tr> <tr> <td>・施設整備</td> <td>件数：14件</td> <td>補助金額：16,689千円</td> </tr> <tr> <td>・備品購入</td> <td>件数：20件</td> <td>補助金額：13,012千円</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>件数：1件</td> <td>補助金額：69千円</td> </tr> </table>	合計	件数：35件	補助金額：29,770千円	・施設整備	件数：14件	補助金額：16,689千円	・備品購入	件数：20件	補助金額：13,012千円	・その他	件数：1件	補助金額：69千円
合計	件数：35件	補助金額：29,770千円											
・施設整備	件数：14件	補助金額：16,689千円											
・備品購入	件数：20件	補助金額：13,012千円											
・その他	件数：1件	補助金額：69千円											
<p>指標① 目標：25件 24,000千円 実績：35件 29,770千円 達成率：140%</p>													

令和
4
年度

令和6年度当初予算にて追加

指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>社会福祉法人やNPO法人等が行う福祉活動に対し、きめ細かい支援を行うことで、対象法人等が行う福祉活動の効率化や規模拡大、福祉施設利用者の利便性向上等に寄与している。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>営利を目的としない団体が行う地域福祉活動に対して補助金交付を通じて幅広くその取り組みを支援することができている。 一方、景気が上向かず、低迷や低金利が長期化している現在の状況下において、寄附実績は全体的に低下する傾向にあり、新規寄附者の開拓などにより基金財源の安定化を図る必要がある</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>寄附収入が伸び悩む中、細く長く継続するため、募集時期を工夫する等してニーズを最大限ひろい上げ、できるだけ補助件数を確保できるようにしている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 H23年度以降は、公益財団法人田口福寿会から同会が実施してきた助成事業の財源相当額を、1,300万円を上限として、毎年寄附いただけることとなっていたが令和元年度から寄附額が1,200万円となった。経済情勢の悪化等による寄附金や利子収入の減少により、収入が減少しているため、今後の継続的な事業実施が不透明な状況が続いている。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 景気が上向かず、低金利が長期化している現在の状況下において、寄附実績は全体的に低下する傾向にあり、基金を取り崩しながら補助事業を実施している。今後は新規寄附者の開拓など、基金財源の安定化を図るための方策を検討していく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	